

## 特集

# 第17回「ビルクリーニング・アイデアグッズ大賞」決定!

- 30 大賞「荷下ろししやすいダストカート」
- 31 優秀賞「フィルター空中キャッチ」
- 32 特別賞「クリティカルフィット」「一つ抜くと手前に降りてくるバッテリーケース」
- 33 奨励賞
- 34 佳作
- 36 メーカー賞
- 38 メーカー賞選定理由
- 60 その他の作品
- 71 主催者挨拶・総評
- 72 審査委員講評



## 現場レポート

- 41 BC Gallery [おそうじ写真館®]  
中日本ハイウェイ・メンテナンス東名  
「施設用途に合った合理的な清掃方法を求め、ロボットを試験運用中!」
- 50 現場探訪 —実作業から学ぶ清掃手法—  
インスタ映えな床を創り続ける夫婦経営のお掃除屋さんの挑戦  
「nano+」×ヤマケンビコウ

## 資機材インフォメーション

- 54 ■新製品フォーカス

## New Product Focus



左から コップも洗える! ホテル専用洗剤/One PWR FloorMate Jet/BR 30/1 C Bp/セーフガードR/LTS-R、TC20-R/3M™ クリーン&シャイン光沢復元 洗剤/ NEXT バスクリーナーシリーズ

## インタビュー

- 42 今月の表紙／ビルメンにかける想いー表紙撮影の現場からー  
 (有)ハヤシ美掃 **林 大介**さん

## 経営・コラム

- 25 メッセージはトイレの中に (103)：アントイレプランナー・白倉正子  
 トイレに掃除ロボットが発動!?
- 28 50年の轍 vol.48：岸 正  
 ビルクリーニング技能確立に邁進した10年 (2)
- 74 ISO41012を読み解く：JFMA認定ファシリティマネジャー・吉廣幸夫  
 七の巻 付属書の内容 ～その2～

## 教育・技術

- 40 カピコラム (26)：JMCP日本カビ対策プロジェクト・八巻徹  
 災害復旧時の難題 カビによる二次被害 (2)
- 44 そこが知りたい！ 洗剤&薬剤のサイエンス：クリーンクリエイターズラボ・栢森 聡  
 第3部 床用洗剤 1. 表面洗剤 その① 樹脂ワックス皮膜の手入れ
- 48 現場責任者のためのスキルUPノオト (5)：高嶋雅之  
 身だしなみ、あいさつ、言葉づかいの指導はできていますか？
- 56 チャレンジKYT 危険予知訓練：ターキー小椋  
 キケン発見シート 問題 vol.67／解答 vol.66
- 58 ビルメンリーダー養成塾 Chapter2 業務管理編：酒井誠一  
 §29 顧客管理⑩「顧客対応力の向上 (8)」
- 78 世界のビルクリーニング文献：リンレイメンテナンス総合研究所・今村一憲  
 File 6. マイケル・ベリー博士  
 「ハイパフォーマンスなクリーニングにおける7つのカギ」

## 情報・交流

- 82 BCライブラリー  
 『もしあと1年で人生が終わるとしたら?』書評：大谷主水  
 業界関連新刊情報『1か月に1回物を動かせば家はキレイになる』
- 83 BCアーカイブ：編集長が語る『ビルクリーニング』の10 years ago  
 2011年12月号No.282：ビルメンメンテナンスの社会貢献を地方からアピール  
 〈報告〉ビルメンヒューマンフェア'11 in 新潟
- 84 BCカレンダー
- 86 月刊ビルクリーニング2021総目次 (2021年1月号～12月号)
- 90 モップさん：神保あつし



左から林 大介さん、佐藤 真弓さん  
 (p42 撮影協力)



## 広告掲載企業 INDEX

- 表2 ペンギンワックス
- 表3 ケルヒャー ジャパン
- 表4 シーバイエス
- P01 オープ・テック
- P02 サンワ
- P04 オンザロード
- P06 i-team Japan
- P07 こうかん
- P08 感染症対策アドバイザー協会
- P09 アビコ
- P10 ソニカル
- P11 蔵王産業
- P12 エコソフィ
- P13 TOWA
- P14 テラモト
- P15 ウルトラフロアケアジャパン
- P16 TOSHIO
- P17 レボテック
- P18 S.M.S.Japan
- P19 トライテックノス
- P20 グローブシップ
- P21 コンフォール
- P22 リンレイ
- P23 プロシオンジャパン
- P24 パナソニックコンシューマー  
マーケティング
- P35 ポリッシャーJP
- P81 テクノメザキ
- P92 東京ビル管理用品協同組合
- P93 Coffee roaster N.O.A.
- P94 フリーダム
- P95 Office Dz
- P96 大真

次号予告 「ビルメンヒューマンフェア&クリーンEXPO 2021」総力特集《仮》 ※内容、タイトルは予告なく変更になる場合があります

# 五〇年の 轍

題字＝興膳慶三

## ビルクリーニング技能確立に邁進した10年(2) —追い風の時代の中、人材の結集と世代間引継ぎが行われた—

当初計画された400時間に上る職業訓練に対して、全国的には懐疑的な反応も多かったが、技能審査による技士制度が現実味を帯びてくると状況は大きく変化、さらに技士資格がビル衛生管理法の登録要件に取り上げられたことによってさらに関心度は加速、訓練センターが10周年を迎える頃には、技能士取得熱は最高潮に達した。

訓練センターは当初会員の関心の高まらない中、「建築物衛生管理科」訓練が要求する教育課程・教材の作成、訓練指導員の養成など着実に事業をこなし、昭和50年9月、訓練を開始させた。その背景には、技能審査による技士認定の見通しが立っていたことが大きい。正式な認定の告示は訓練期間中の51年3月であった。翌月、訓練修了生には「技士補」が与えられた。翌年、技能審査試験が実施され、技士補は技士となった(103名)。

技士資格への会員の関心と理解は否応なく高まったが、一気に進んだのは、このビルクリーニング技士がビル衛生管理法改正(昭和55年)による登録制度と結び付いてからであった。建築物清掃業の人的要件である清掃作業監督者の受講要件となったのである。

もうひとつ、訓練センターにとっては“天祐”とも言うべきものがあった。職業訓練を進める上で必須の訓練会場である。昭和50年から訓練センターは全国勤労青少年会館(中野サンプラザ)の管理業務を受注、ここを訓練の場として活用させていただけることになった。実際に使われている場所での訓練は大いに教育効果を上げた。さらに、全国の大型



昭和59年2月、訓練センターは東京・丸の内内の東京会館で創立10周年記念式典・祝賀会を開催した。セレモニーもなく静かなスタートを切った訓練センターの10年後は、一転、達成感に満ちた祝賀ムードに包まれた。白杵繁、迫井正倅、中山茂、清水正二、松田文男、猪俣功、近藤俊吾の先達たちに10年間の労苦に報いるべく理事長表彰が授与された。



訓練センター2代目専務理事の井上正徳氏は労働省出身。職業訓練・技能審査の普及、そして検定移行後の通信訓練、受検準備講習の運営を事務面から支えた。井上専務が退任した昭和59年センターは全国協会と同じ森ビル33に移転、事務局機能の拡充を図った。

施設8か所(サンプラザ・サンパレスなど)のメンテナンス業務の受注は、財政的にも訓練事業の推進を支えた。

訓練センターは設立から10年目の年(昭和57年)、5,997名のビルクリーニング技士を生み出した技能審査を終了、新たに国家検定ビルクリーニング技能士養成業務に専念することになった。先達たちは次世代講師の育成に意欲的に取り組んだ。ここで育てられた人材がその後の技能検定(検定員)とその養成訓練(指導講師)を支えた。

指導講師中央研修会や通信訓練添削指導講師打合せなどが随時開かれ、相互交流を通して連帯を深め

た。また、講師のみならず普段会うことのない受講生とも通信を通して関係を築いた。講師と講師、講師と受講生の連帯が真の教育となる「添削指導講師打合せ」であった。

筆者の通信訓練時の思い出を紹介させて顶きたい。自分の不摂生からやむなく入院をせざるを得なくなったが、受講生のお一人から激励のお手紙を頂いた。心温まる文面であると同時に、その方の仕事にける心というものが垣間見え、改めて通信訓練の重要性を認識させられた。

講師と受講生との共感が、10年の年月を重ねることによって訓練体制を実り多いものにした。

(文/岸 正)

(注記) 記事中の団体名の正式名称は以下のとおりです。

全国協会：公益社団法人 全国ビルメンテナンス協会、訓練センター：一般財団法人 建築物管理訓練センター

第17回

# ビルクリーニング アイデアグッズ大賞

## 決定!

「ビルクリーニング・アイデアグッズ大賞」にご応募いただき、ありがとうございました。新型コロナウイルスの猛威で世界中が混沌とするなか、日々、施設の安全・安心のために働く現場の皆様、それを支える管理者の皆様、本当にお疲れ様です。今回も忙しい業務のかたわら、応募用紙いっぱい現場発のアイデアを書き留めていただきました。

応募総数は89点。どれも読み応えがあり、「こんなことに困っていたのか」と目からウロコのアイデアの数々に驚くばかりでした。当然、コンクールということで、心苦しくも各賞を選定させていただきました。しかしながら、それぞれの作品に優劣はありません。業務における気づきと改善意欲は、自身の成長はもちろん、それが回りまわって会社のため、お客様のためにつながっていくものだと思います。

また、会社全体で本コンテストにご応募いただいた大成株式会社様、株式会社エィ・ダブリュ・サービス様をはじめ、多くの企業様からご応募いただきました。主催者としてたいへん光栄なことでした。

最後に、誌面上を借りて、協賛いただいたメーカー・販売店各社、厳選な審査をいただいた審査委員の皆様、そして、「ビルメンヒューマンフェア&クリーンEXPO 2021」にて展示スペースをお貸しいただいた(一社)日本能率協会様に対して、心からお礼を申し上げます。

株式会社クリーンシステム科学研究所 代表取締役 坂上逸樹/編集部一同

### 審査委員

委員長 松本卓三 (マネジメント21/本誌編集委員長)

委員 井上雄二 (建築物管理訓練センター 事務局長)

栢森 聡 (クリーンクリエイターズラボ/本誌編集委員)

小椋 剛 (本誌「チャレンジKYT」著者)

稲垣太一 (株式会社 Thick One /本誌編集委員)

### 協賛メーカー (50音順)

(株)アイケークリエイションズ (ポリッシャー.jp)

スイショウ油化工業(株)

(株)ダイカ商事

バイリンクリエイト(株)

(株)ユーホーニイタカ

(株)セイワ(株)

(株)テラモト

(株)阪和

ユシロ化学工業(株)

(株)エムアイオージャパン

(株)ソニカル

(株)TOSHO

(株)フリーダム

横浜油脂工業(株)

オーブ・テック(株)

大一産業(株)

(一社)日本能率協会

山崎産業(株)

(株)レボテック

### Contents

- p30~31  
大賞・優秀賞
- p32~33  
特別賞・奨励賞
- p34~35  
佳作
- p36~37  
メーカー賞
- p38~40  
メーカー賞選定理由
- p60~71  
その他の作品
- p71  
主催者挨拶
- p72~73  
審査委員講評



同時受賞

山崎産業賞



選定理由

ごみ袋をカート上部から引っ張り上げると、腰への負担やごみ袋を抱え込むような動作を取るため、安全衛生的にも危険が伴う。水平に取り出すという発想の転換で、見事、リスク低減ができています。



## ◆ 作品概要

上部からごみ袋を出し入れするダストカートの基本構造を改良し、横入れ・横出しを実現。荷下ろしがしやすいダストカートに！

## ◆ 使い方

側面の開放部をごみ袋の出し入れ口とすることで、垂直方向にごみ袋や雑誌・新聞などの束を持ち上げる必要がなくなり、水平に持ち出すだけでよい。開放部には、自転車のフック付き荷台ゴムロープを張り、移動時の袋の落下を防ぐ。

## ◆ 改良・開発のきっかけ

以前、高齢の女性作業員が多い現場で、満杯の120Lごみ袋や雑誌の束などをダストカートから取り出すのに苦労されているのを見たのがきっかけ。また、たまにごみ袋がカート上部のフックに引っ掛かり、破れるのを防ぎたいと思っていた。

## ◆ 改善着眼

重量物を上からではなく、横から取り出す方法を探しているうちに、平台車が目に入った。重量物は、平台車くらいの高さで横に降ろすのが最適だと思った。そうすることで、シュレッダーごみの袋などをダストカート入口のフックで破る心配もない。

また、ダストカートの専用布袋を取り去り、段ボールを活用していたため、見た目を考慮し、側面の段ボール3面

をプラスチック段ボールで覆って、固定した。

## ◆ 効果

作業効率を上げるため、どうしてもダストカートに積む1回の量は増えてしまいがち。しかし、ごみ袋を抜き取るのに時間がかかったり、破ってごみを散乱したりすれば意味がない。この工夫により、無理な姿勢での作業がなくなり、作業者の体力的な負担も減って、安全に作業できるようになった。

## 受賞者の声



石原 誠二さん

今回のアイデアグッズは、20年前から使っていたものです。宅配業者が使っているようなカート台車を参考に、荷降ろしが安全かつ楽になるよう考案しました。今回、なかなか良いアイデアが思い浮かばないなかで、「荷下ろししやすいダストカート」は過去にも応募したことがなかったことに気づき、まさかそれが大賞をいただけるとは……!? 本当にありがとうございます。



天カセエアコンのフィルターを空中に浮かせて保持する金具

# フィルター空中キャッチ

作品No.31 考案者 谷垣 隆さん/株式会社システム・クリーン

同時受賞

横浜油脂工業賞



選定理由

フィルター洗浄、その後の乾燥など、地面につけると汚れてしまうため、それを防ぐという点が良かった。作成も容易で、運搬・保管時にコンパクトであるため、実践しやすい。



## ◆ 作品概要

ホームセンターで購入した金具とディスプレイネットを拘束バンドで固定し、そこにエアコンフィルターを置くだけで、洗浄スピードが上がり、汚水による再付着もいまま衛生的に仕上がる。

## ◆ 使い方

- ① 「フィルター空中キャッチ」を壁などに立てかける  
(地面に傾斜があればなお良い)
- ② 洗浄するフィルターを金具に載せる
- ③ 低圧の高圧洗浄機で洗浄
- ④ フィルターを裏返して再度、洗浄する

## ◆ 改良・開発のきっかけ

天井埋込カセット型などの大きなエアコンフィルターを洗うのに最適な方法を探し、シャワーノズルで洗う、ブロワーで飛ばす、掃除機で吸引などを試した結果、高圧洗浄機による「低圧洗浄」がベストだとわかった。しかし、フィルターをただ寝かせたり、壁に立てかけたりした状態で水を当てても、地面や壁の汚れが跳ね返ってフィルターに再付着してしまう。

そのため、水道栓の近くであり汚れていない地面や壁を探し、洗ったあとはフィルターを手で持ち上げ、水道のシャワーノズルでリンスする手間も必要だった。

## ◆ 改善着眼

フィルターを空中に浮かせれば、汚れが強めのフィル

ターも効率良く洗えるのではないかと考え、ディスプレイネットを活用することにした。

## ◆ 効果

フィルター自身のホコリや接地面の汚れの再付着を防ぐため、洗浄時間が短くなり、見た目や衛生面が向上した。また、「よりプロっぽい洗浄スタイルになった」と自負しており、魅せる清掃にも効果的。

## 受賞者の声



谷垣 隆さん

いつも作業するときには、前回よりも速く、楽にという視点で業務に臨んでいます。また、こういうものがあればいいなという発想はあるのですが、自分でそれを作れるのか、体現できるのかという点で苦労しています。「フィルター空中キャッチ」は、前々から実践していた清掃方法でした。いつもドキドキしながら審査結果を待っていたので、優秀賞と別の作品は奨励賞もいただけて、とても嬉しかったです。